



5領域に基づく支援プログラムを組み合わせせて活動を行います



健康・生活

- ☆毎日の体温測定、ご家族からの連絡帳内容の把握、サービス中の健康観察
- ☆来所後、決まった流れに沿って活動（うがい、手洗い、始まりの会、ラジオ体操、おやつ、宿題、運動、遊び、トイレ、帰りの会など）
- ☆靴の脱ぎ履き、トイレトレーニング、着替えなど生活スキルの獲得



など

運動・感覚

- ☆ラジオ体操、柔軟体操、歩行、バランスボールなど様々な運動（体力、筋力、バランス、姿勢などの動作獲得）
- ☆音楽に合わせた遊び（リズム感覚の獲得）
- ☆机上での作業（物作りなど）
- ☆感覚過敏のある児童への配慮（イヤーマフや個室対応など）



など

認知・行動

- ☆始まりの会で日付や天気、今日の予定を共有し、視覚的にわかるよう対応
- ☆音楽を使い、活動の切換（トイレ、片付けのタイミングを聴覚にて促す）
- ☆屋外へ出かけ、季節の変化を感じる（公園や社会資源の活用、畑活動など）
- ☆こだわりや偏食等の配慮（環境設定や個室対応など）



など

言語 ・ コミュニケーション



- ☆始まりの会、帰りの会で発表する場面を提供し、「話す力、聞く力」を養う
- ☆読み書きや計算、宿題の実施
- ☆絵カード（写真）を使ってのコミュニケーションの獲得
- ☆本やタブレットを活用することでの言語の獲得、形成



など

人間関係 ・ 社会性

- ☆一人で遊ぶこと、友達と遊ぶことを通し、自己理解、他者理解の獲得
- ☆ごっこ遊びやルールのある遊びを通しての知識、ルール、他者との関わりの獲得
- ☆近隣の社会施設へ出かけ、マナーなどの獲得
- ☆人に触れる運動や遊びを通してアタッチメントの形成（スキンシップの形成）や他者との距離感の理解



など